

「浅水代かき実践会」(JA高知県南国市稲作部会、営農経済センター主催)

日時：平成31年3月26日(火)9:30～

場所：南国市立後免野田小学校南側圃場

参加者：約30名(JA高知県土長地区稲作部水稻生産者、JA高知県土長地区職員、物部川清流保全推進協議会関係者(中央東農振、物部川漁協、物部川21世紀森と水の会、渡邊会長、流域3市)四万十町)

内容

物部川清流保全推進協議会の「代かき濁水対策を進めるワーキング」では、水稻の生産者に代かき濁水の現状と対策を理解してもらうことが重要であるとして、各関係機関による広報に加えて、啓発チラシの配布や各種会議での周知などの広報活動を展開しています。

JA高知県南国市稲作部会及びJA高知県南国営農経済センターの主催により、濁水対策として「浅水代かき実践会」が3月26日に開催されました。

はじめに、浅水代かきの実施方法や代かき用ハローに関して説明があり、その後、実演講習がありました。

流域外の四万十町からの参加もあり、取組が県内に徐々に広がっていくことが期待されます。

「濁水対策を進めるワーキンググループ」では今後も、こうした取組を通じて、ひとりでも多くの方にご理解・ご協力いただけるよう啓発活動を継続していきます。

〈当日の様子〉



浅水代かきの概要説明



浅水代かきの様子



代かき前(左)と代かき後(右)の様子

物部川にやさしい農業を！5つのステップ！

- | | |
|-----------|--|
| ① 均平作業 | ていねいに耕運作業をすることで圃場を均平にすると、後の浅水代かきや水管理をしやすくなります。 |
| ② 漏水防止 | ・畦周りの点検、補修を行い漏水に気をつけましょう。
・排水口は、止水板等を設置し、濁水が流れ出ないように気をつけましょう。
水止め効果があれば、板でなくてもOK |
| ③ 適正入水 | 水は物部川の貴重な資源です。水を入れすぎで強制落水をしないよう水管理に気をつけましょう。 |
| ④ 浅水代かき | 代かきは「土が7～8割見える程度」で行い、作業時に濁水が流れ出ないように気をつけましょう。 |
| ⑤ 落水なしの移植 | 田植え直前に強制落水をしないように気をつけましょう。 |